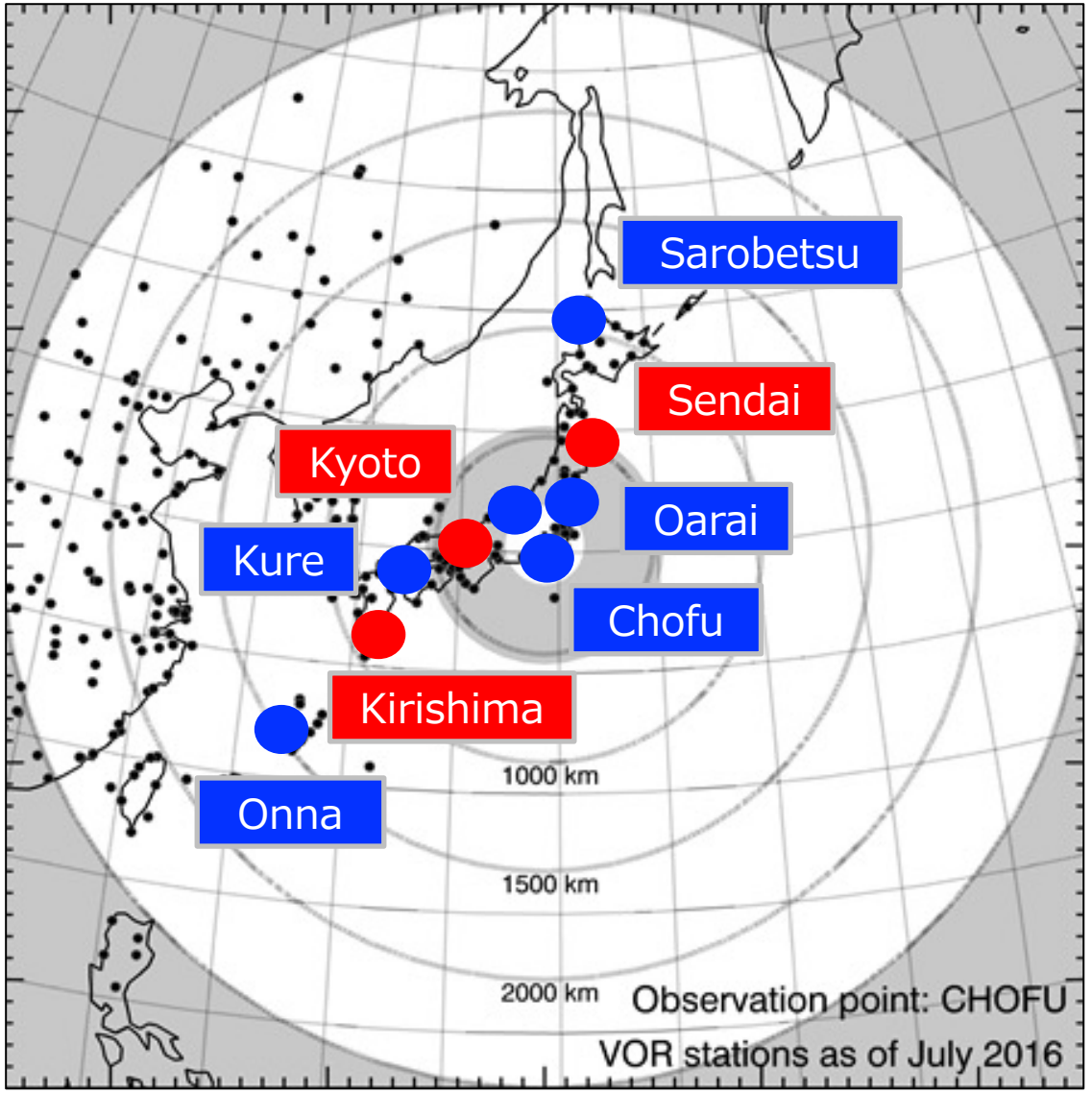
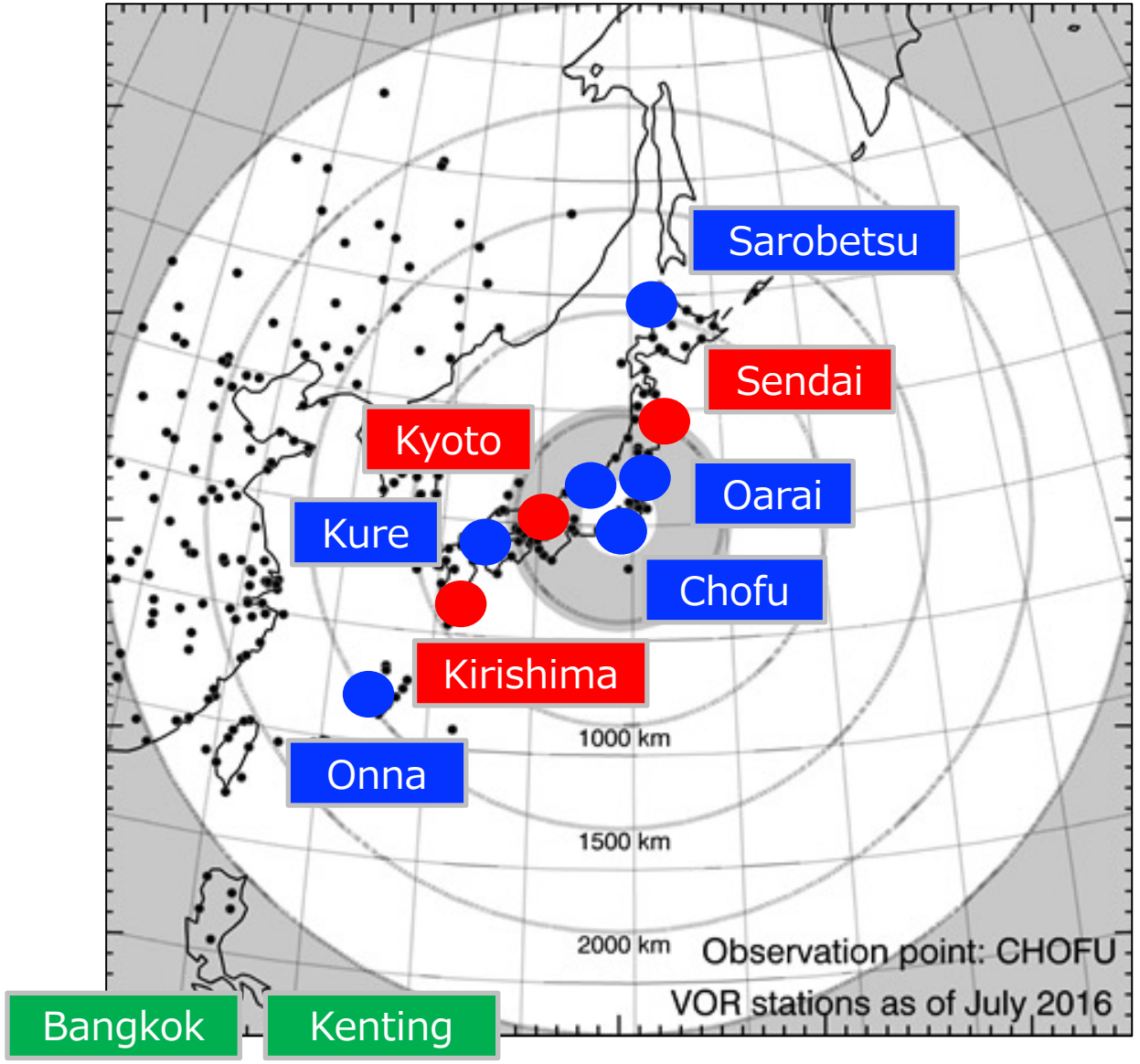
受信機の設置場所 – 最初の 6 観測点

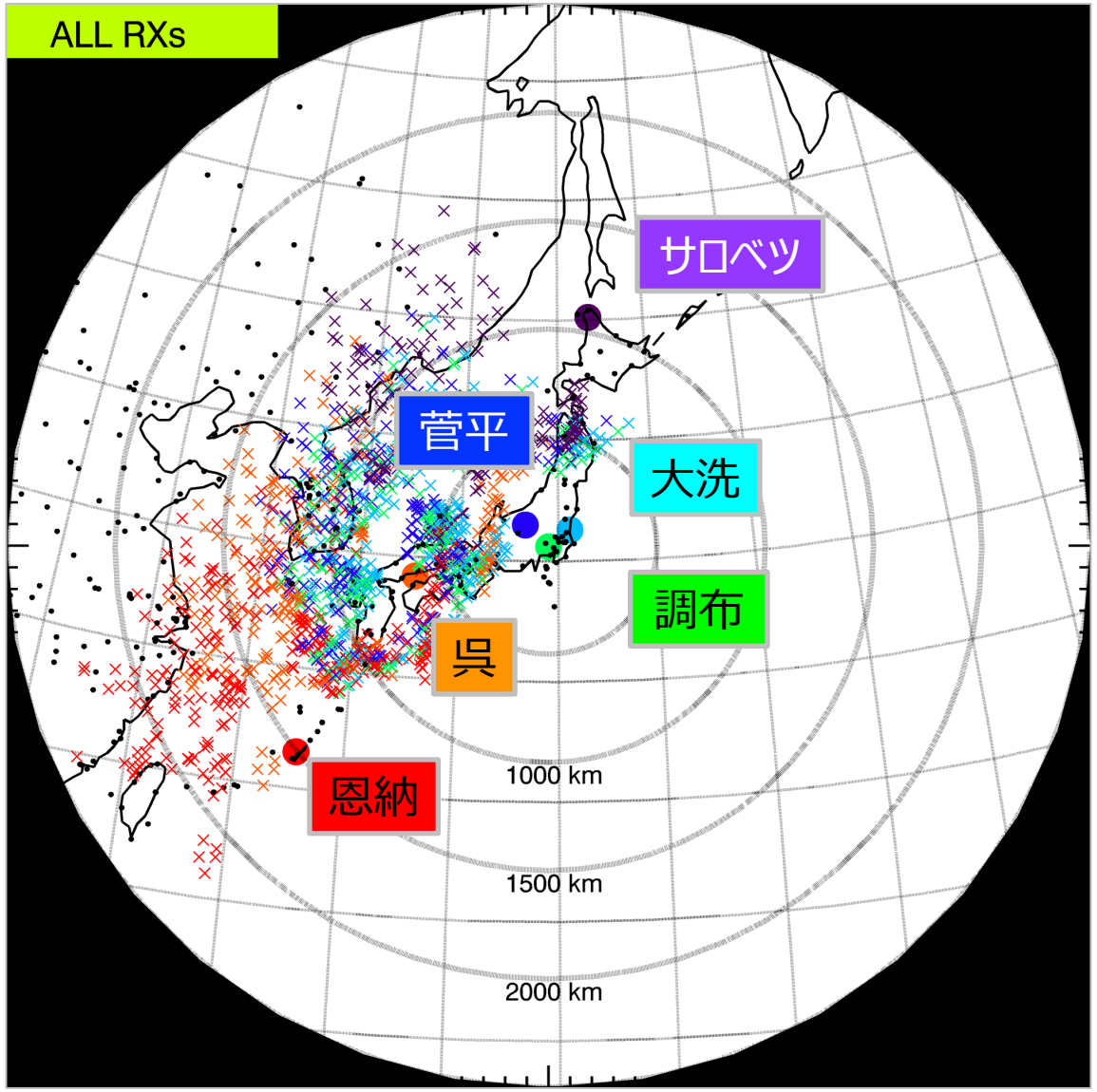
- 東京都調布: 35.66N, 139.54E
  電気通信大学・調布キャンパス
- 広島県呉: 34.24N, 132.53E
  海上保安大学校
- 長野県菅平: 36.42N, 138.32E
  電気通信大学・菅平宇宙電波観測所
- 茨城県大洗: 36.33N, 140.58E
  情報通信研究機構・大洗テストフィールド
- 北海道サロベツ: 45.16N, 141.75E
  情報通信研究機構・サロベツ電波観測施設
- 沖縄県恩納: 26.50N, 127.85E
  情報通信研究機構・沖縄電磁波技術センター



受信機の設置場所 – 追加配備した 5 観測点

- 宮城県仙台: 38.14N, 140.92E
  電子航法研究所岩沼分室
- 京都: 35.03N, 135.78E
  京都大学理学研究科
- 鹿児島県霧島: 31.73N, 130.73E
  鹿児島工業専門学校
- 墾丁 (Kenting), 台湾: 21.95N, 120.78E
  台湾成功大学（NCKU）
- タイ，バンコク: 13.73N, 100.78E
  モンクット王工科大学ラートクラバン校（KMITL）



想定される Es 反射点の分布

- 右図の黒い点は VOR/ILS 送信局（主として空港に設置されている）の分布
- これらの送信局と 6 つの受信局の中間点を×印で表示している，色は受信点を示す
- Es 伝搬による VHF 波の最大到達距離は約 2500 km，以遠の領域は黒塗りにしている
- 直達波の受信が可能な領域とスキップゾーンに位置する送信局からの電波は長距離異常伝搬とは考えられないため，受信点から約 500 km 以内の送信点は除外している
- 中間反射点は日本列島の多くと近傍の海洋をカバーしている